

江戸時代まで辿れました◇
家系図を作った門徒さん その2

古い戸籍を
取ってみよう



石井充さん

家系図は『①古い戸籍を取る』『②戸籍をしつかり読む』『③家系図の書き方の基本ルールに沿って書く』。3つの作業の繰り返しで作っていくます。なぜ繰り返し作業になるかというと一般的に先祖の戸籍は一所の役所ですべて集まることは稀で、全国の各地の役場に保管されているからです。まず初めに、自分の戸籍謄本を取得しておきましょう。自分の戸籍は参考資料として必ず必要になります。次に、自分の父母、祖父母など辿ってご先祖様の戸籍を可能な限り取得しましょう。

先祖代々ずっと古くから同じ地に住んでいれば、本籍地である役所一ヶ所への請求ですべての戸籍が取得出来ます。本籍地を転々と移っている場合は手間がかかります。逆に先祖が各地を転々としていて足取りを追う場合は、戸籍から請求先を読み取る回数も増えるため、更に手間が増えます。私の場合、父方家系は横須賀市役所

だけで全部取得できましたが、母方家系は、祖父は長野、祖母は群馬の出身、また祖父は群馬、横須賀、横浜、東京など各地を転々としていたため請求先をみつける手間暇が増え、時間がかかりました。

さて、実際に取得するとなると問題となるのは本籍地が遠方の場合です。戸籍は本籍地のある役所に保管されていますので、その場合は、郵送で請求をしましょう。郵送請求の方法は、役所のホームページに詳しく載っていますので、インターネットで「〇〇市戸籍 郵送」と検索すれば、すぐ見つかるはずです。

同封するものは、「(1)戸籍謄本等請求書」「(2)定額小為替」「(3)身分証のコピー」「(4)返信用封筒」「(5)返信用切手」「(6)請求対象のご先祖との続柄が確認できる資料」(つづく)



石井さんが取り寄せた
謄本の数々

家系図作りませんか？
石井さんがお手伝いをしてくださいます。
★西来寺までご連絡ください。

西来寺 〒238-0051 横須賀市不入斗町 3-38 / TEL 046-822-1020 / ホームページ <http://sairaji.com>

西来寺報

令和四年 冬
第四十四号

報恩



表白

大塚山 西来寺 令和四年 報恩講

今号の巻頭言は、過日の西来寺報恩講において読み上げた「表白(ひょうびやく)」を載せたい。表白とは、その法要の位置と、その法要を執行する意味が語られるものである。

さて「報恩講」とは、一般的に「恩に報(むく)いる集い」と了解されている。私をも救ってくださる阿弥陀如来の御本願に対しての御恩報謝の仏事である。しかし、私たちは「報

いる」と言えるほど、そもそも如来の御心を知っているのだろうか。一切の賜りが如来のお与え・お恵みであることを、やつと「報(しら)された」ばかりではないだろうか。報恩講は「恩を報されたところの集い」であり、さらに厳しく言えば「報いることなどできないという懺悔(さんげ)の一点」に立つ仏事なのだと思う。

敬つて、大慈大悲の阿弥陀如来の御尊前、ならびに、宗祖親鸞聖人の御影前にて、申し上げます。

本日ここに、有縁参集の人びととともに、御尊前を莊厳し、御聖教を誦して、宗祖親鸞聖人が還浄されてから満七六〇年、七六一回忌の報恩講を厳修いたします。

思えば、一昨年初頭からの、新型コロナウイルスによる感染症の流行は、長く私たちの生活を脅かし、とりわけ、今を生きる子どもたちの遊びや学業に、大きな制限を加え、悲しませてしまいました。流行病とは言え、人間の浅はかさ、勝手さ、自己中心的な姿が、自他ともにあぶり出された、人知の闇を見る人災でもありました。そして、当山においては、本年は、第二十二世住職大洋院釋充賢、大塚充師の三回忌、第二十一世住職

健康コラム



コツコツ

お家ヨガ⑨

お餅をたべすぎた!?

年末年始の冷え、むくみ 解消!!

だんだんと寒さが深まり冬の訪れを感じる季節となりました。冬は他の季節に比べ食欲が増し、消化の力も強くなると言われています。逆に夏は食欲が減退したり、消化不良を起こしやすいかたがあります。そんな冬でも年末年始はご馳走を食べる機会が増えることや、お休みの間はのんびりとお家で過ごすことが増え、消化の力が弱まってしまふことがあります。そのため便秘を引き起こしたり、お腹が張って苦しさを感じることも。そんな時は寝転がったまま行うポーズを行ってみましょう。このポーズ「ガス抜きポーズ」と言われ、お腹を圧迫することによって、腸を活性化させることが出来ます。苦しくなければ食べすぎてしまった日の就寝前や翌朝起床後に、お布団の上で行うのがおすすめです。

- ①お布団の上
に仰向けに
なります。
- ②両膝を両手
で抱えて胸
に引き寄せ
ます。
- ③息を吐きながらおでこ膝
を近づけるようにして、身
体を小さく丸めます。
- ④お腹に意識を向けたまま
ゆっくりと深呼吸を3回程
行い、息を吐きながら頭と
足を床へ下ろします。



両膝を抱えると背中
中や首が辛いのかた
は、まずは片足す
つ胸に引き込んで
みましょう。



月イチ開催中

申込み不要!

だれでもできる
やさしい「寺ヨガ」
開催 毎月第一金曜日
時間 午後2時〜3時
参加費 一〇〇〇円
会場 西来寺 本堂
飲み物・タオル持参

行事のご案内

十二月三十一日(土)

午後十二時 歳末昏時

午後十二時四十五分

除夜の鐘の打鐘



西来寺梵鐘は横須賀市内に残る最古の梵鐘で、横須賀市の指定重要文化財です。みなさんについて、新しい年を迎えましょう。

一月一日(日)

午前十一時 修正会

修正会は元日に行われる法会で、その年の生活の目標を立て、心を新たに求道の道を進む決意をします。是非、ご参加ください。

ご注意・新型コロナウイルス感染予防と拡大防止にご協力をお願い申し上げます。



報告

令和四年
真宗大谷派 大塚山 西来寺

報恩講

令和四年十月二十九日土曜日、暖かな日差しと爽やかな風が吹く秋の晴天。報恩講の開催を知らせる30分前の鐘の音が鳴り響きました。行事の多い土曜日の開催とあつて、参拝の方が少ないのではないかと皆心配されていましたが、勤行が始まる頃には満堂となり、追加に椅子を出すことにもなりました。

今年の講演は、滋賀県の玄照寺の住職、瓜生崇師をお招きし西来寺に伝わる「二河白道」の絵を題材にお話しいただきました。



準備のときの写真や当日の記念撮影など・・・



境内の柏の葉



休憩後のヨガ



勤行が始まる頃には、本堂は満堂になりました



瓜生崇師講演 90 分間熱心に聞き入る聴講の方々

その道を西に向かっていきなさい。
行けー!!
水の河と火の河に落ちて死ぬことは
ないから、行けー!!

お釈迦様

(おしゃかさま)

愛欲

水の河

怒りの心

火の河

旅人 (私)

群賊悪獣

(ぐんぞくあくじゅう)

阿弥陀様

(あみださま)

心を定めて西に来い!!
私が必ずおまえを守る。
だから火の河、水の河に落ちる
ことを恐れなくていい!!

すでにこの道あり。
必ず度すべし!!

あんなに馬鹿なことをしては死ぬぞ
死にたくないから、行けー!!
死にたくないから、行けー!!

西来寺のホームページでは、準備から当日に撮影した 100 枚以上の写真がご覧いただけます。



う りゅう たかし
瓜生崇師 講演 (抜粋)

ほんとの浄土とは、
夢やぶれた世界

「こんなのは本当の世界じゃない。本当はこんなふうにならなくていいはずがない。」
幸せになれば、私が救われる
自分の心が満たされれば、私が救われる
私の思いが満たされれば、私は救われる
結局、小さな自分やこの世界を、なんとかしようと思っただけでしょ?

楽ちんができて幸せな世界に行かないから苦しいのではなく、楽ちんができて幸せになりたいっていう心があるから苦しいんだ。

「こんな小さなひとりぼっちのこの世界をどんなふうにしたところで、あんなの夢の中でころがってるだけだろう。」と、お釈迦様は言ったのです。その夢がやぶれた本当の世界をありのままに見なさいと。
ほんとの浄土とは、夢やぶれた世界。ありのままの世界。ありのままに見ていく世界。これが浄土という世界なんです。

親鸞聖人は
このように言っています

『浄土に行きたいと思うのに、僕は浄土から逃げているんだ』と。
なぜかといったら、僕はこの居心地の



いい「自分の迷いの心の世界」をぎゅーっと抱きしめてね、これを失うのが怖くて怖くてしかたがなくて、ほんとの世界が見られないんです。「本当の世界より怖いものはないんだ。」と、真つ暗なところで真つ暗な私を抱きしめて震えているのが「私」なんです。だからこの世界に目覚められないと。



二河白道に描かれていること

旅人である「私」は、西に向かって歩いて来た。真実の世界はどこかにないだろうかと、ひとりぼっちでずーっと荒野を歩き続けて来ました。
やがて行き場がなくなり、どうにもならなくなっちゃう。目の前にあるのは、水によって濡らされ、火によって焼かれ、今にも消え去りそうな白い道があるだけ。

そこで旅人はある決意をするんです。その決意というのは、「どうせ死ぬんや」と思うんです。どうせ死ぬんやったら、一歩西に踏み出そうと思うんです。
『すでにこの道あり。必ず度すべし』これ、すごく大事なセリフなんです。阿弥陀様も言います。「私が必ずお前を守る。心配するな。」「私を動かしてる大きな願いがある。私を西に向かわしている大きな願いがある。それならば、必ず向こうの岸に渡してくれるはず」と、こう思っ、旅人は一歩足を進めます。

報恩講、当日のもようは
西来寺チャンネルで
チェック!!



YouTube

勤行、ヨガ、講演の
全部をノーカット版
でご覧いただけます。

西来寺蔵「二河白道図」絹本着色 縦 72.2cm 横 78.3cm 現代作